

# 第3学年 学級活動 指導案

平成30年10月 2日 (火) 第5校時

- 1 議題 「最上級生にふさわしい合唱コンクールの取組を考えよう」  
内容(1) 学級や学校の生活づくり  
ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決

## 2 議題設定の理由

### (1) 生徒の実態

本学級は、明るく素直で、男女分け隔てなく接することのできる気持ちの優しい生徒が多い。学校行事に取り組む意欲は高く、6月に行われた体育祭では、目標に向かって協力し集団の一員としての役割を果たそうとする生徒の姿勢が、以前よりも強く実感できるようになった。しかし、自ら気づき、考え、行動するといった自主性・主体性に少し課題がみられる。

合唱コンクールに関しては、実行委員やパートリーダーに多くの生徒が立候補したことから、最上級生として、最後の合唱に対する学級集団の強い思いを感じることができる。そのため、合唱コンクールに向け、話し合い活動を取り入れた学級会を行い集団決定・集団実践の経験を積ませることで、集団としての力のさらなる向上を図っていく。

### (2) 議題について

本校の第2学期に行われる合唱コンクール(10月27日実施予定)は、6月に実施の体育祭と並び学級対抗で取り組むメインイベントである。この時期には、全校を挙げて熱心に練習に取り組む生徒の姿が多く見られ、歴史的に伝統が引き継がれている。通常の音楽科の授業に加え、昼休みと放課後にスケジュールが組まれ、学級単位で練習に取り組んでいる。一昨年、昨年度と、二度の合唱コンクールを経験し、今年度は「学校の顔」として、また最上級生として縦割り活動の中心になることも期待される。そこで、学校行事(文化的行事)のねらいを十分に理解し、合唱コンクールにおいて実行委員と学級活動委員を中心に学級会を開き、話し合い活動を行う。この話し合い活動が、学級ごとに取り組むための主体的な活動へ向かうきっかけとなるよう、また一人一人の思いを大切に、生徒の団結と集団としての力を高めていくことをねらいとして考え、本議題を設定した。

## 3 指導のねらい

- 話し合い活動を通して他者の意見や考えを聞き、学級全員で取組を決定することで、主体的に取り組む態度を育てる。
- 自分の意見をもって学級会に臨み、自他の意見を尊重し、集団に生かそうとする力を育てる。

## 4 評価の観点と本実践における評価規準

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団や社会の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価 規準	合唱コンクールに向けての取組や過程に関心をもち他の生徒と協力して主体的に取り組もうとしている。	学級の一員として自覚をもち、自分の役割や集団としてのあり方について考え、判断し、実践に努めている。	学級で話し合うことや、それをふまえて主体的に合唱に取り組む意義と、その喜びを理解している。

## 5 展開の過程

### (1) 事前の活動と生徒の活動

期日	活動の場	活動内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と 評価方法（評価の観点） 【評価方法】
9月6日	昼休み 学級活動委員会	・議題の選定と 提案理由の 練り上げ ・アンケート調 査の作成	・提案理由が明確になる ように助言する。	・よりよい学級づくりのため に意欲的に話合いに参加し ている。 (関・意・態) 【観察】
9月10日	第5校時 学級活動	・アンケート調 査「合唱コン クールに向 けての取組 を考えよう」 の実施	・各自の考えや意見を書 き込めるようにする。	・真剣な態度でアンケート調 査の記入を行っている。 (関・意・態) 【アンケート調査】
9月11日	昼休み 学級活動委員会	・調査結果の確 認	・学級成員一人一人の意 見を大切に扱い、反映 させるよう助言する。	・話合いを深めようと準備を 進めている。 (関・意・態) 【観察】
9月13日	放課後 学級活動委員会	・打合せ	・役割分担、本時の活動 の流れを検討し、活動 の見通しをもたせる。	・合唱コンクールに向けた取 組を行っていくための話合 いに必要なことを理解して いる。 (知・理) 【観察】
9月18日	放課後 学級活動委員会		・当日の話合いで予想さ れる意見などのイメージ を共有し、本時の流 れを確認する。	
9月28日	放課後 学級活動委員会	・リハーサル	・進行方法や役割、議題、 提案理由などを再確認 する。	

### (2) 本時の指導と生徒の活動

#### ア 本時のテーマ

「最上級生としてふさわしい、合唱コンクールに向けての取組を決定する」

#### イ 本時のねらい

- 合唱コンクールに向けた取組に関心をもち、互いの活動意欲を高める。
- 学級の一員としての自覚をもち、話合い活動で自分の考えを述べることができる。
- 他の意見を尊重し、意見を述べ合う中で、学級独自の取組を練り上げる。

## ウ 展開

段階	活動の内容	・指導上の留意点 ○目指す生徒の姿と評価方法（評価の観点） <b>【評価方法】</b>	資料等
活動の開始  5分	1 開会の言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>合唱コンクールに向けて、意欲的な話合いを促す呼びかけができるようにする。</li> </ul>	学級会ノート
	2 学級活動委員の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級の一人一人が学級会におけるねらいを理解できるようにする。</li> </ul>	
	3 議題の発表・確認	<p>「最上級生としてふさわしい、合唱コンクールに向けての取組を考えよう。」</p>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>合唱コンクール実行委員、学級活動委員を中心に検討された過程を示し、本時の議題を学級全体に伝える。</li> <li>アンケート調査結果による学級の現状を伝え、合唱の素晴らしさや担任の思いを語り、コンクール本番に向けた取組のための話合いへの意欲を高める助言とする。</li> </ul>	事前アンケート
	4 提案理由の説明	<p>体育祭では、最後まで諦めずにみんなが力を尽くし、最高の結果を得ることができました。2学期は、合唱コンクールでも優秀賞を狙って頑張っていますが、今の合唱に満足しないで、今までで一番の合唱に仕上げたいと思います。このクラスで過ごせる時間も、それほどありません。改善点を見つけて意見を言い合ったり、自分の役割を全力で果たしたりするなど、クラスの一人一人が真剣に取り組む意識をもって、最後の合唱コンクールを飾れるような取組がしたいです。</p>	
	5 決まっていることの確認	○議題や提案理由に関心を持ち、実行委員の提案を主体的に聞いている。  （関） <b>【観察】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>決まっていること、提案理由を全員が共有できるように助言する。</li> <li>本時のねらいとずれないように配慮する。</li> </ul>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本番：10月27日（土）</li> <li>○歌う曲：学級合唱の他、学年合唱、全校合唱の計3曲</li> <li>○練習可能な時間：昼休み、放課後の20分間                ※昼休み、放課後を合わせて、音楽室は計9回、多目的室は計3回、体育館は計4回割り振られている。それ以外は教室が基本となる。</li> <li>○各学級にCD（音源）、CDデッキ（再生機器）を配布</li> <li>○実行委員、指揮者、伴奏者、パートリーダー（分担決定済）</li> </ul>		
	6 教師の話	<ul style="list-style-type: none"> <li>活発な話合いになるよう雰囲気づくりを行う。</li> <li>ここまでの内容で補足があれば付け加える。</li> </ul>	

活動の展開 30分	7 話し合い (1)学級練習の20分間の使い方を考えよう。 (2)練習を充実させるための約束と工夫を考えよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3段階討議法(出し合う→比べ合う→まとめる)を基本に進行するが、話し合いの活動過程の(1)については事前に「出し合う」を済ませておく。</li> <li>・(2)についても、事前に考えられるものは学級活動ノートに意見を記入させておき、「出し合う」を活性化させる。</li> <li>・(2)については出された意見は、可能な限り生かしていく。</li> <li>・意見が出ず、話し合いが滞ったときや、方向性がズレそうになった場合は教師が適宜、助言する。</li> <li>・場合によっては体育祭での取組を振り返ることができる。</li> </ul> <p>○積極的に自分の考えを発表するとともに、他の考えに共感したり、意見を述べたりすることができる。</p> <p style="text-align: right;">(関) 【観察】</p>	過去の学級会の記録
活動のまとめ	8 決定事項の確認 9 自己評価・感想記入 10 教師の話 11 閉会の言葉	<ul style="list-style-type: none"> <li>・決まったことを要約して、はっきりと伝えるようにする。</li> <li>・決定事項を踏まえて、これからどのように取り組んでいくかを考えさせる。</li> </ul> <p>○話し合いで決定したことを今後の学級練習に生かそうとする。</p> <p style="text-align: right;">(思) (知) 【学級会ノート】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の合唱コンクールに向けての意欲的に取り組めるよう励ましを行う。</li> <li>・学級会の内容を振り返り、良かった点、反省点を振り返る。</li> <li>・司会、書記、提案者に称賛を送る。</li> <li>・合唱コンクールに向けて協力し活動できるよう呼びかける。</li> </ul>	学級会ノート

### (3) 事後の指導と生徒の活動

期日	活動の場	活動内容	指導上の留意点	目指す生徒の姿と評価方法(評価の観点) 【評価方法】
10月2日	帰りの会	・学級会ノートの回収	・個々にコメントや助言を付け返却する。	
10月3日 ～26日	昼休み 放課後 等	・決定した事項の取組の実践	・学級で決めた約束と決まりを守って、継続して合唱練習に取り組む。	・他と協力して合唱に取り組んでいる。 (関)

10月27日	合唱コンクール(当日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学級合唱、学年合唱、全校合唱</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの取組を振り返り、意欲を高めて本番に向かわせる。</li> </ul>	
10月29日	学級活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱コンクールの振り返り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合唱コンクールまでの取組と当日の合唱について振り返りを記入させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前～本番の活動を通して、学級で取り組むよさや意義を理解している。(知)</li> </ul>